

湖東中学校活動(実践)報告

(1)活動(実践)内容

○「書く」「話す」領域

第2学年3組 英語科学習指導案

指導者 三浦 祐香子

1 単元名 Chapter 3 将来の夢についてのスピーチをしよう!

2 本時の学習

(1) 本時の目標

電話でのやりとりを自由に作文し、ペアで会話ができる。 <表現>

(2) 単元における本時の位置づけ

電話での会話表現を身につけるために、友人と英語で表現活動をする機会とする。

(3) 本時の「見通す・振り返る」学習活動

- ・電話での会話表現を身につけるために、日本語で電話の会話をする。
- ・ペアで作成した会話表現を全体の前で発表する。

(4) 学習過程 (本時 16/20)

学習活動	・予想される生徒のあらわれ	◆個に応じた支援 ☆言語活動の充実 ・留意点	評価
1	本時の学習課題を確認する。	・ペアで英作文をし、最後に発表することを伝える。	
<b>英語で電話。何に誘う?何を借りる?</b>			
2	新出単語の発音と意味を確認し、練習する。	・発音がわからない生徒には、隣に行って読み方を教える。	
3	教科書の会話文の意味を確認する。 ・ Hello. This is Meg. May I speak to Pat? →もしもし。メグですけど。パットいますか。 ・ Hi, Meg. What's up? →やあ、メグ。どうしたの? など	・ ワークシートを配布し、教科書の会話文の意味を穴埋め形式で確認できるようにする。 ・ May I speak to~?のような重要表現や意味がわかりにくいところは、全体で英語の意味を確認しながら進める。	
4	教科書の会話文の練習をする。	・ 質問や感想に関する表現を、教師の後に続いてリピートさせる。	
5	ワークシートに沿って、電話での会話を英作文する。 ・ どんな会話にしようか? ・ 誘う表現は、映画にしよう。 ・ borrowは借りるという意味だから、何を借りようかな。 ・ 家まで持って来られるものじゃないとだめだね。	☆ ペアで作成することで、アイデアを出し合いながら会話文を完成することができるよう、意図的なペアを作る。 ☆ ワークシートにアイデアを書きだす欄を設けて、自由度の高い英文が作れるようにする。 ◆ なかなかアイデアが出ないペアには、いくつかのシチュエーションを与え、その中から選べるようにする。 ◆ 辞書を用意して、様々な単語を使って英作文ができるようにする。 ◆ 早く作成できるペアのために、ワークシートに2種類目、3種類目の会話が記入できる欄を設けておく。	
6	ペアで発表練習を行う。	・ 5分間の練習時間を設け、作った会話文を覚えるように指示する。	
7	ペアで発表をする。 ・ Hello? Hello. This is ○○ speaking. May I speak to ○○? Hi, Meg. What's up? Can I borrow your dog? Sure. I can lend it to you. I'll bring it to your house tomorrow. Great! Thanks. See you tomorrow. Bye.	・ ボランティアを募る。必要に応じて指名していく。 ・ ユーモアのある会話や自然な流れの会話を作っていたペアを称揚する。	
		電話での会話を自由に作文し、ペアで会話することができたか。(ワークシート)	

(2) 成果・課題

○今までの授業の中では、スピーチなど、自分に関する事柄について英作文する機会が多かった。今回の実践では、ペアで如夢の会話文を作るということで、相手に対して気を配ったり、時制の一致などが合うよう

○今までの授業の中では、スピーチなど、自分に関する事柄について英作文する機会が多かった。今回の実践ではペアで架空の会話文を作成することで、起承転結に気を配ったり、時制のつじつまが合うように作文したりするペアが多くみられた。会話文作成のため、今までよりも相手を意識した内容を作成しており、それを使って実際にやりとりをするという点でコミュニカティブな授業づくりの実践となった。

研修主題である、4技能の有機的な育成という点で課題が残った。表現活動では「書く」と「話す」活動が主になり、「読む」と「聞く」活動をコミュニカティブに行うという面で難しさを感じた。どの技能も伸ばせるように、コミュニカティブな「読む」「聞く」活動について今後も研修を積んでいきたい。

